

高田マレーシア（TKM）の紹介

前書き

高田マレーシアは、マレーシアの発展に貢献すべく、高田工業所で2番目の海外拠点として設立され、今年で38年を迎えました。石油化学はもとより日系企業の進出に伴う工場建設及びメンテナンス、海外輸出用のユニット製作など多岐に渡る事業活動を通じ、発展してきました。ここでは、沿革、設備内容など当社の概要を紹介します。

1. 会社概要

名称：Sri Takada Industries (Malaysia) Sdn Bhd
 所在地：《Head Office & Factory》（図1、図2）
 No.18, Lorong Keluli 1B, Kawasan Perindustrian Bukit Raja Selatan, 40000 Shah Alam, Selangor, Darul Ehsan, Malaysia
 《Johor Office & Factory》（図1、図3）
 PLO 819E, Jalan Platinum 4, Platinum Business Park, Kawasan Perindustrian Pasir Gudang, Zon 12B, 81700 Pasir Gudang, Johor Darul Takzim, Malaysia
 代表者：前田 泰男
 設立年月日：1982年9月
 資本金：RM3,200,000（マレーシアリングgit）
 事業内容：各種プラントの建設及びメンテナンス
 従業員数：80名（内、日本人駐在員4名）



図1 ロケーションマップ



図2 高田マレーシア 本社



図3 高田マレーシア ジョホール工場

2. 沿革

- 1982年 高田マレーシア設立
- 1992年 Kuala Lumpur（以下KL）本社開設
- 1993年 Melaka Branch 開設（2002年閉鎖）
- 1994年 Bukit Raja に工場開設
- 1995年 Johor Branch 開設
- 1996年 Bukit Raja 工場にクリーンルーム設置
- 1997年 Kedah Branch 開設（2003年閉鎖）
- 2000年 ISO9001 認証取得
- 2002年 Shah Alam Branch 開設
- 2002年 KL から Bukit Raja へ本社移転
- 2008年 ISO14001 認証取得
- 2011年 OHSAS18001 認証取得
- 2012年 Bukit Raja 本社新社屋完成
- 2018年 Johor Office & Factory 開設

3. 設備内容

3.1 本社工場設備

表1に工場エリア、表2に生産能力、表3に工場設備を示す。

表1 工場エリア

建屋	面積
事務所	663m ² (39m × 17m)
工場(屋根付)	1,600m ² (80m × 20m)
工場(屋根なし)	1,360m ² (80m × 17m)
材料保管倉庫	774m ² (43m × 18m)
機材倉庫	264m ² (22m × 12m)
材料仮置場	936m ² (36m × 26m)
オープンスペース	2,372m ²

表2 生産能力

生産品目	生産能力/月
配管プレファブ (カーボンスチール& ステンレス)	100 Tons, 20,000DB
ストレージタンク	カーボンスチール: 60 Tons ステンレス: 30 Tons 90 Tons
サポート&ブラケット	カーボンスチール: 20 Tons
鉄骨構造物	カーボンスチール: 150 Tons
塗装	6,400m ²

表3 工場設備

機材	能力	数量
ガントリークレーン	2ton	4
ジェネレーター	150KVA	2
ジェネレーター	50KVA	1
直流溶接機	500 A	30
直流溶接機	400 A	8
携帯用溶接機	300 A	12
GMAW / FCAW 半自動溶接機	400 A	3
エアープラズマカッター	25 mm	5
ロータリーパイプソー	12 inch	1
開先加工機	16 inch	1
油圧式ジャック	25 ton	4
ネジ配管加工機	3 inch	5
パイプ曲げ加工機	2 1/2 inch	2
プレート切断機	1/2 inch	1
プレート曲げ加工機	1/2 inch	1
ターニングローラー	3 ton	2
穴開け加工機	1 1/2 inch	3
電気オープン	100kg	4
エアークンプレッサー	100 kgs / cm ²	5
高圧コンプレッサー	300bar	1
フォークリフト	6ton	1

3.2 ジョホール工場 設備

表4に生産能力, 表5に工場設備を示す。

表4 生産能力

生産品目	生産能力/月
配管プレファブ (カーボンスチール& ステンレス)	25 Tons, 5,000DB
サポート&ブラケット	カーボンスチール: 5 Tons
鉄骨構造物	カーボンスチール: 4 Tons

表5 工場設備

機材	能力	数量
ガントリークレーン	5ton	1
エアークンプレッサー	8 kgs / cm ²	5
直流溶接機	500 A	6
携帯用溶接機	300 A	2
電気オープン	150kg	2

4. 主要工事実績

1982-1983 ペトロナス GPP-1 配管工事 (Melaka)

1992-1994 ペトロナス PSR-1 配管工事 (Melaka)

1998-1999 タイタン TPP-2 配管工事 (Johor)

2001-2020 A社 各生産ライン新設 配管工事 (KL)

2010 パプアニューギニア LNG 向け

排水処理ユニット製作 (KL)

2011 B社 化学工場建設 機器据付配管 (Kuantan)

2013-2014 C社 医薬工場建設 配管工事 (Johor)

2017-2018 D社 化学工場建設 機器据付配管 (Johor)

5. 今後の展望

2016年から開始された西マレーシア南部ジョホール州の石油化学の大型プロジェクト(RAPIDプロジェクト)の建設工事が2019年に完工し, 2020年現在, PIPC(Pengerang Integrated Petroleum Complex)として商業運転が開始されている。

今後も2037年まで4つのフェーズで開発が進むと言われており, 当該設備によって生み出された豊富な上中流の材料を基に, 周囲に関連産業を分野ごとに集積する工業団地の建設が予定され, さらなる発展が期待される。

実際に, 開発を執り行うジョホール・コープ(Jcorp)の発表では既に174億リングギット規模の誘致を見込んでおり, それらの具現化が間近に迫っている模様である。

そのような状況の中, 当社は2018年にジョホール州の拠点として, 工場新設によって機能の拡充を図り, 依然開発が進むPasir Gudang地区やTanjung Langsat地区も含めたニーズに対応するべく体制構築を行っている。

当社としては引き続き高田工業所の子会社として, 日本国内と同様の質の高いエンジニアリングサービスを強みに, お客様の海外進出, また既に現地にて御活躍されているお客様の設備の増設・改修・メンテナンスの全面的なサポートを継続しつつ, 老朽化が進む設備に対する診断サービスなど新たな技術を導入することで, 産業プラントエンジニアリングメーカーとしての能力を充実し, よりお客様にとって頼りにして頂ける会社を目指していきたい。

近藤 良祐* (高田マレーシア)